

第2回水稻病虫害発生予察状況の調査結果について

令和8年7月7日 兵庫県農業共済組合西播支所

佐用町内（佐用3、上月2、南光1、三日月2）の水稻病虫害発生状況について7月7日に調査を行いました。病害については確認されませんでした。害虫はウンカ類・カメムシ類が確認された程度でした。

1 調査結果（調査日7月7日）

◎生育調査結果

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
コノホシ（三日月折口）	67.8	24.8	5月23日移植
白鶴錦（櫛田井之谷）	38.4	16.6	6月10日移植

◎病虫害調査結果

病虫害名	調査結果の概要	今後の対策
いもち病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除・管理に努めてください。
紋枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
縞葉枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ウンカ類	一部ほ場で確認されました。	
ツマグロヨコバイ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ニカメイチュウ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
カメムシ類	ごく一部のほ場で斑点米カメムシが多数確認されました。	

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

① いもち病

調査田では確認されませんでした。常発地域ではこまめにほ場を観察し、必要であればウンカ防除も含めてコラトップトレボン粒剤（3～4 kg/10 a）を早めに散布しましょう。

② カメムシ類

斑点米カメムシ対策として、出穂の2週間前までに畦畔等の草刈りを実施し、本田のノビエは早めに抜き取りましょう。

今回は不稔と斑点米を引き起こすイネカメムシは見られませんでした。これまで被害のあった地域等は引き続きご注意ください。

（参考）推奨薬剤：スタークル液剤 10

時 期：1回目（不稔対策）：出穂から穂揃い期、（粒剤の場合は出穂前に施用）

2回目（斑点米対策）：1回目散布から7～10日後

次回の調査予定日：令和8年7月22日（水）です。